



最前列に用意された前理事長故渡部タミさんの席

道 北

名寄市母子会

大場 恵子

開催日 令和2年10月25日
場所 旭川ときわ市民ホール
参加数 16名

本年度の当番地は名寄市でした
が、天塩・稚内からの交通の便を
考慮して旭川市での開催とし、連
日のコロナ報道の中で、三密を避
け代表者のみの参加としました。

小雨降る肌寒い中、外部からの
来賓挨拶はありませんが、今まで
母子会の為に尽力下さった渡部タ
ミ様の席を設け、在りし日の姿を
偲び全員で黙とうを捧げました。
感謝を申し上げると共に更に母子
会発展の為に頑張つていくとの思
いを重ねた事は、その後の演題「母

子会の在り方と現状」
についての質疑応答形
式の講演の中
に表れました。明年
1単位会が減となる報
告を受け、驚きと一抹の寂しさも
ありました。一方、今の単位会は
今後の会の解散、休会という事態
に傾くことのない様自主努力をし
ながら、会員同士の深い絆で継続
し続けるとの力強い発言で鼓舞す
る会長の思いを聞き、形はそれぞ
れ違つても自分たちの会は自分た
ちで造り上げ、出された課題に挑
戦するしかないとの思いを改めて
考えさせられました。限られた参
加人数だからこそ、本音で話し合
え、単位会同士の絆の大切さを再
確認した内容となりました。

最後に、次回開催地の富良野市
での再会は、コロナが収束して盛
大に行わることを願い、多くの
会員の参加で思い出となる研修会
になることを祈念しています。

令和2年度ブロック研修会報告



コロナ禍、マスク姿で熱心に討議を重ねる参加者

道 南

伊達はまなす会

井樺 和子

開催日 令和2年11月8日
場所 登別市労働福祉センター
参加数 23名

今回新型コロナウイルス感染症
拡大の中での研修会となりました
ので、三密にならない様気をつけ、
マスクをし、換気をし、こんな中
でも登別アシリの会代表の芳賀美
津枝様と助手の坂口京子様のお2
人をお迎えして、アイヌ文様刺繡
の伝承文化のお話と刺繡を教えて
頂きました。

江戸時代に疫病が流行し大勢の
人が亡くなりました。この事が
きっかけで刺繡をするようにな
り、疫病退散という魔よけの願い
が込められています。そんなマス
クを菅総理が官房長官の時に使つ
てくれた事から話題となり沢山の
注文が入つてると、特に大阪の方

に人気あ
るそうで
す。そん
なマスク
刺繡とて
も楽しみ
にしてい
ました。
とても丁
寧に教えていただきアツという間
の時間でした。

アシリの会芳賀様はアイヌ文化
をもっと大勢の方に意味を理解し
てほしいと、小さい時はアイヌだ
といふことを隠してきたそうで
す。

今コロナの大変な時だから、早
くおさまり、普通の生活に戻れま
す様にと願い、一針一針刺繡させ
てもらいました。貴重な体験が出
来ました。感謝しています。あり
がとうございました。

令和2年度共同募金助成金
は、4ブロック研修会、広報
紙発行に充当させていただ
きます。

ご報告し、お礼を申し上げ
ます。



アシリの会代表芳賀美津枝さん、助手の坂口京子さんを囲んで